

能勢高校ニュースレター 2014夏号



能勢高校では、多くの皆さんに教育活動や能勢高生の活躍ぶりを知っていただくため、学期ごとに「能勢高校ニュースレター特集号」を発行しています。ぜひご覧ください。ホームページでも情報を発信しています。

11月29日（土）に浄るりシアターで創立60周年記念式典を開催します。多く皆様のご参加をお待ちしています。

<http://www.nose-highschool.ed.jp/>

オーストラリア 国際交流校が来日

オーストラリアでの国際交流研修を受け入れているマジー高校から総勢28名（生徒24名、教員4名）が来日し、生徒7名と教員1名が訪れ、能勢町内で3日間ホームステイしました。4月21日（月）、本校体育館でウェルカムセレモニー（両校代表挨拶・記念品交換・両校生徒パフォーマンス）を開催し盛大に出迎えました。その後、マジー高校生と本校バディー生徒の自己紹介等による対面行事で打ちとけ合い、学校農場での見学や実習体験、そしてバディー生徒の授業と一緒に参加するなどして交流を深めました。また、放課後には、鹿角座の方に協力していただき、浄るりシアターで人形浄瑠璃の実演と解説及び体験をさせていただきました。オーストラリアの高校生たちが浄瑠璃人形について活発に質問し、興味深そうに体験する様子は印象的でした。この夏は、本校生4名が2週間のオーストラリア国際交流研修に参加しています。



本校体育館でのウェルカムセレモニー



浄るりシアターでの人形浄瑠璃の体験

文科省スーパーグローバルハイスクール アソシエイトの指定

スーパーグローバルハイスクール（SGH）事業とは、高等学校においてグローバルリーダーを育成するため、平成26年度から5年間の指定期間でカリキュラム開発をするもので、全国から246校の応募がありました。本校は、今後の学科の改編と能勢町でのグローバル人材育成につなげていくことを目的に、町づくりの専門家からの協力をいただき応募したところ、1次選考である書類審査を突破することができました。残念ながら研究指定校56校（大阪府では、北野高校、三国丘高校、関西大学高等部の3校）には選ばれませんでした。計画の内容に独自性が高いことより、全国で54校の「SGHアソシエイト校」（大阪府では、本校、豊中高校、四條畷高校、千里高校、関西創価高校、大教大附属平野校舎の6校）に指定されました。今後、SGH指定校とともにSGHコミュニティを形成し、グローバル人材育成に向けての取組を進めていくこととなります。

大阪のてっぺん ～ 今年も熱くなる体育祭 ～

5月30日（金）、晴天に恵まれる中、体育祭を実施しました。熱中症等、健康面が心配でしたが、そんな不安も一蹴。元気、大きな声があふれる白熱した体育祭となりました。生徒たちは、約1カ月前から各団（赤青黄）ごとの応援練習やシンボル（看板）の制作を手掛けてきました。計9クラスと生徒数は少数規模ではありますが、生徒一人ひとりが、きちんと役割を果たし、全力を尽くして頑張ってくれました。また、当日は、東郷小と田尻小の児童が競技に参加し、来賓やPTA、地域の方々等、多くのご来場をいただきました。皆さんのあたたかいご声援は生徒たちにとり、大きな励みになったことと思います。ありがとうございました。



留学生ヤオさんが田尻小、東郷小で国際交流活動

能勢高校では、毎年、海外からの留学生を受け入れています。今年度の長期留学生は、中国上海から来た沈忻瑶（シンキンヨウ）さん（ヤオさん）です。ホストファミリーは森上の長尾義信さんです。

6月11日（水）に田尻小学校で、13日（金）に東郷小学校で国際交流活動を行いました。

スライドを使って中国の文化などを紹介した後に、小学生たちの名前（漢字）の中国語の発音を教えたり、小学生たちからの質問に答えたりして、楽しい有意義な交流となりました。交流を終えたヤオさんは、「小学生たちはかわいくて、とても楽しかった。」と語ってくれました。



東郷小学校での交流授業



田尻小学校での交流授業

i Padを活用した教育活動を開始

今年度、大阪府教育委員会「3校 i Pad プロジェクト」に選ばれ、アップルジャパンより i Pad を71台を借り受け、授業、行事、部活動などでの活用を開始しました。例えば、1年生「英語 I」では、生徒同士がお互いに i Pad で音読を録画し、出来栄を確認しました。1年生「家庭基礎」では、全クラスでグループごとに「三白三黒」のレシピについて i Pad を使って調べ学習をしながら、

i Pad でプレゼンテーションを作成しました。また、7月8日（火）連携中学2年生の体験入学会では、i Pad 特別講座を開講し、タブレットパソコンの様々な機能を楽しみながら、プレゼンテーションを作成しました。今後、反転学習などの導入をめざし、i P a d を本格的に活用した授業・教育活動を展開していきます。



平成26年度 能勢町小中高一貫教育総会

4月16日（水）、浄るりシアターにて、「能勢町小中高一貫教育総会」が開催され、小中高一貫教育の成果報告として、美谷 奈央子さん（箕面市立病院勤務・看護師/56期生/田尻小学校・東中学校出身）と遠山 遥さん（関西学院大学教育学部幼児教育学科3回生/58期生/久佐々小学校・西中学校出身）が、能勢町で過ごした小中高校時代を振り返って発表をしてくれました。

美谷さんは、中学の時、国語、数学、英語の授業を受けた能勢高の先生に高校でも教えていただき、安心して授業に臨めたことなど、遠山さんは、オーストラリア国際交流研修への参加、ダンス部、軽音部での活動、観光甲子園の出場など、積極的な高校生活を過ごしたことなどについて発表しました。



能勢高校を応援する会 第5回総会

7月20日（日）、浄るりシアターにて、「能勢高校を応援する会“町ぐるみ応援団”」第5回総会が、総勢200名の参加のもと開催されました。本校からは、ダンス部が「夏だ元気にはっちゃけよう！」を表現したダンスパフォーマンスを披露し、農業クラブが「能勢町の活性化～食と観光を通して～」をテーマに発表しました。また、地域再生マネージャー（総務省・ふるさと財団）としてこの7月から能勢町で活動されている斉藤俊幸さんによる「能勢高校の魅力化による生き残り」と地域活性化」をテーマとした講演会では、本校が地域といっしょになり6次産業化などの町の活性化に貢献すること、文部科学省のスーパーグローバルハイスクール事業の研究指定をめざすことなどの提案をいただきました。



がんばっているクラブの紹介 シリーズ5 ダンス部



新入生5名を加えた10名で活動しています。学内の他、地元の小・中学校、能勢町の様々なイベントからの参加要請をいただくことも多く、子どもの頃からお世話になった方々へ自身の成長した姿を披露する機会にもなっています。

9月の文化祭をはじめ、11月の創立60周年記念式典では、式典に花を添える演技ができるよう頑張りたいと思っています。応援よろしくお願いいたします。

創立60周年記念式典の開催

11月29日(土)、浄るりシアターで開催を予定している本校創立60周年記念式典講演会に、講師として陸前高田市の戸羽 太市長を迎えることに決まりました。本校は、東日本大震災からの復興を支援するため、「NGO 三陸アシスト」を通じ、一昨年度の文化祭でイベントを企画しました。そして集めた募金を直接、戸羽市長に手渡すことができたことから、つながりが生まれました。戸羽市長からは、本校の生徒たちに対して、未来をしっかりと生き抜いていく力を育めるよう、熱いメッセージと強いエールを送っていただけることと、大いに期待しています。

60期生の進路状況

今年3月に卒業した60期生(中高一貫・総合学科8期生)の進路状況としましては、4年制大学への進学者が少し減り、専門学校への進学者が増えました。これは、就職に直結する資格や技術・技能を取得できる専門学校への人気が高まっているためだと思われます。就職では、引き続き厳しい状況の中でしたが、近隣の企業を中心に、希望者ほぼ全員が合格できました。詳しくは本校ホームページをご覧ください。

「がんばれ能勢高生！」～先輩からのエール～



能勢高校で過ごした3年間で様々な経験を積ませていただきました。能勢高校は、近いこと、そして、少人数であることがいいところです。通学時間が短いことで勉強やそれ以外にも時間が多く取れ、様々なことに挑戦することができました。勉強に関しても、多くの先生方に熱心に指導していただきました。少人数の能勢高校だからこそ、個人的に丁寧に指導していただけたのだと思います。地道に一つひとつ粘り強く取り組めば成功することを学びました。おかげで、塾に通うことなく大学へ進学することができました。

能勢高校で学んだことが、大学生活でも就職活動でも大いに役に立ちました。今、社会人として仕事の上でも、“地道に粘り強く”を信条に頑張っています。

平成22年卒 56期生 暮部 雄一郎 さん
川西市役所勤務 (甲南大学 文学部 歴史文化学科卒業)



私は、能勢高校で、部活動、生徒会活動、ボランティア活動、そして今の大学をめざすきっかけとなった「観光甲子園」で多くの経験をしました。休みがないほどの忙しさに当時は大変さも感じましたが、充実している心地良さの方が強かったです。今、大学では周りに意識の高い人たちが多く、たくさんの刺激を受けて毎日を過ごしています。高校3年生の夏休みまで専門学校に行くつもりだった私が、この大学で学んでいることが今でも不思議です。

能勢高校での経験は、本当に自分の中で大きなものになります。先生方が最後まで生徒一人ひとりを見てくださっているので、今しかない高校生活、諦めずに何にでも挑戦してみてください！

平成24年卒 58期生 加藤 史帆 さん
和歌山大学 観光学部 地域再生学科 農山村再生ゼミ3回生